１　指宿地域を支える担い手の育成

指宿地域を支える担い手の育成（新規就農者）

成果の要約

１　市とワンフロアでつながる優位性を最大限に活用し，就農状況調査や面談をもとにした早期経営確立支援を実施。新規就農者の判断で支援を求める環境づくりが整備され，個々の発展段階に応じた効果的な支援を実現できた。
２　新たに畜産部門，花き部門の研修会を開催し，野菜部門以外の新規就農者支援にも取り組んだ。
３　指導農業士，農業青年クラブ等の地域農業者と連携し，新規就農者育成を地域で担う体制が形成され，定着率は９０％を超えている。

１　対象

（１）農業次世代人材投資資金等交付対象者及び交付終了者 121 戸（交付対象者 10 戸，終了者 111 戸）
（２）新規就農者（R3～R7 年）64 人

２　課題を取り上げた理由

（１）新規就農者の８割以上がオクラ・豆類の野菜部門であり，認定農業者への誘導も含めて地域の担い手として定着するための支援が必要である。
（２）経営ビジョンの明確化や経営課題解決を自ら取組む意識醸成や能力向上のため，各種研修会等での支援が必要である。
（３）労働力の確保が容易でない。

３　活動の内容及び成果

（１） 新規就農者の経営発展支援
ア　支援体制の整備
　担い手担当者会で，市や農業委員会と活動内容の検討や情報共有を行うとともに，市と県が同一フロアで連携できる利点を生かし，相談者に対して経営面からの助言を行うなど，より実効性の高い支援活動を展開した。
イ　交付対象者への定着支援
　農業次世代人材投資事業等を活用する交付対象者に対し，就農状況調査や要支援者との面談を通して，技術や経営改善について指導した。
ウ　経営相談
　５年目の終期を迎える農業次世代人材投資事業交付者に対し，認定農業者制度の周知を図るとともに，決算時期に合わせ個別に経営相談に応じ，投資や資金等必要な対策を支援した。



写真１　経営相談の様子

（２） 新規就農者の早期経営確立支援
ア　新規就農者巡回指導
　新規就農者の営農の門出を祝う「指宿市ニューファーマーの集い」を開催。その集いの場を，担い手組織や各種支援施策等の理解を深める機会とするため，指導農業士や青年クラブ，女性組織の代表も参加し，活動を紹介した。また，参加については新規就農者の圃場を個別に訪問し，参加しやすい雰囲気づくりに努めた。



写真２　新規就農者圃場訪問



写真３　ニューファーマーの集い

イ　基礎研修

経営や資金管理，病害虫防除や土壌肥料の基礎，農作業安全に関する研修を３回に分けて実施し，農業の基礎知識への理解を深める機会となった。また，会では指導農業士の経験談を聞く場面を設け，参加者は実務への関心を一層高めていた。

ウ　ニューファーマー講座

指導農業士と連携し，オクラと豆類の現地研修を６回開催。のべ 73 名が参加した。また，本年度からは畜産部門と花き部門の講座も新たに実施し，圃場管理から親との付き合い方までたいへん好評であった。



写真４　野菜部門研修



写真５　花き部門研修



写真６　畜産部門研修

エ　青年等就農計画指導

認定新規就農者への認定申請に係る青年等就農計画について，計画の妥当性や実現性等について指導し，早期の経営確立を支援した。また，新規就農希望者に対しての計画支援も実施した。

４　今後の課題

（１）新規就農者を認定農業者へ誘導し，経営発展を目指す担い手の育成

（２）農業次世代人材投資資金等交付対象者の早期の就農定着を図るための，経営管理・栽培技術等の支援体制の維持強化

５　担当した普及職員（〇はチーフ）

〇深水，松﨑，福山，川畑，中渡瀬，町田，楠畑，上西窪，田中，高橋，黒木，林